

四月十一日

八時、室内の丹下健三追悼文に手を入れる。十時半研究室。定例ミーティング。ゼミ等の骨子を決める。十三時松下電器来室。九州の電化住宅の打合わせ。セキュリティその他を含めると電気ロボット住宅みたいになるなコレワ。十六時迄。マスターミーティング。今年前半の研究テーマを決める。東京(都市)切断計画(東京研究)。都市を幾つかのコンセプトで切断する事によって現在を浮き上がらせる試みとする。

一、娯楽機械 二、自動機械 三、管理機械(監視メディア)
 四、擬似共同体機械 五、自動記述機械
 これは全体として東京を消費の機械として切断する方法。明日から始める住居論は、一、窓 二、出入口 三、階段 四、屋根
 五、素材 六、部屋 七、音 八、気配 九、歴史 十、装飾
 十一、色 十二、収納 十三、ドアノブ 十四、家具 十五、照明 十六、壁 十七、方角 十八、台所 十九、便所 二〇、風呂 二十一、洗面 二十二、テラス 二十三、庭 といった部分についてそれぞれ考察せよ、が前期テーマ。七、音 八、気配 九、歴史(記憶) 十七、方角 二十四、自分と家との関係、は各自研究という事で、全て、実習とクリティックを実験的に試みるつもり。先ず、全体を二〇グループに分けて、¹⁶一回で一巡するよ
 うにプログラムする。故に項目は十六に絞らねば。

四月十二日

八時半京王線稲田堤星の子愛児園、弥彦工務店打合わせ。ブリッジ増築に関して。九時二〇分発。

十時四〇分大学講義。十二時半迄。住居学。十四時発汐留へ。十五時松下電工シヨールーム。十六時迄。新宿迄戻り、小田急線鶴川へ。小野君の通夜。冬に戻ったような寒い夕方になった。十七時半頃鶴川着。駅前のコーヒーショップで休み、十八時前蓮清寺敬信殿へ。小野威君通夜。寺院前の咲き終わってしまった桜がもの哀しい。久米設計岡本社長以下の面々をはじめとした人々が多数参加していた。建築学科同級生達も二〇名程集まる。皆それぞれに多様に年を取っていて面白い。通夜の席を終え、鶴川駅前の飲み屋の二次会へ。これもほぼ同級生全員参加。小野君をしのびながらも皆、妙に生き生きと盛り上がってしまう。許せ、小野君。同級生達はそれぞれ、社長になっていたり、高血圧になっていたり、六〇才をこえて子供が産まれたり、それぞれがそれぞれなりに精一杯生きている様である。二十二時前、散会。小田急線で皆と一緒に戻る。二十三時頃世田谷村に戻る。阿部有史君と連休明けに会う事を約す。今日は小野君のお陰で思いもかけぬ人に多く会えて良かった。